

平成29年第11回定例教育委員会

平成29年11月22日(水)午後2時38分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月田健二	説明員	教育部長	渡部丈司
	委員	支部英孝		教育部次長	萬直樹
	委員	橋本幸子		学校教育支援室長	
	委員	林大輔			伊藤忠信
	委員	須田壽美江		総務課長	山崎正樹
				学校教育課長	廣田修
				教育支援課長	松井正行
				給食センター長	鈴木知幸
				対雁調理場長	鈴木正春
				生涯学習課長	天野保則
				情報図書館長	山岸博
				郷土資料館長	榎田智幸
				郷土資料館主幹	兼平一志
			欠席者	スポーツ課長	三浦洋一
			記録員	総務課総務係長	嶋中健一
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 江別市一般会計補正予算の査定について

2 審議事項

- (1) 平成29年議案第39号
平成30年度江別市一般会計教育予算要求方針について
- (2) 平成29年議案第40号
江別市学校運営委員会委員の補欠委員の委嘱について
- (3) 平成29年議案第41号
全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について
- (4) 平成29年議案第42号
江別市学校給食用食器具(箸)の選定について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成29年第12回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

ただいまから、平成29年第11回定例教育委員会を開会いたします。
本日の議事日程は、配付のとおりであります。
会議に先立ち、本日の会議録署名人を、支部委員にお願いいたします。
それでは、議事に入ります。

1の報告事項、(1)平成29年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告を求めます。

廣田学校教育課長をお願いします。

廣田学校教育
課長

報告事項(1)平成29年度全国学力・学習状況調査の結果についてご説明いたします。
平成29年度の全国学力・学習状況調査は、平成29年4月18日に実施され、8月中旬に文部科学省から江別市教育委員会に集計結果が送付されました。その結果の分析が終わりましたので、ご報告するものです。

資料の1ページをご覧ください。

Iの調査の概要については記載のとおりです。

次に、IIの結果の概要です。

まず、1の教科に関する結果の概要ですが、小学校では、平均正答率は、北海道との比較では、国語A、国語B、算数Aの3教科で上回り、算数Bは北海道と同様です。全国との比較では、国語A、算数Aの2教科で全国を上回り、国語B、算数Bの2教科で全国を下回っています。中学校では、北海道との比較では全ての教科で上回り、また、全国との比較でも全ての教科で全国を上回っています。

次に、2の質問紙調査に関する結果の概要です。

平日に3時間以上テレビやビデオを見る割合は、小学校6年生は全国平均と同様で、中学3年生は下回っております。平日にテレビゲームを3時間以上する割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を上回っています。

授業中の私語が少なく、落ち着いていると思うと回答した割合、礼儀正しいと思うと回答した割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回っており、江別市の学校は大変落ち着いた状態にあると言えます。また、算数・数学の授業でパソコンや電子黒板、実物投影機等を活用して授業を行った割合は、全国平均を大きく上回り、ICTを活用した授業が積極的に行われています。

次に、IIIの各教科の結果については、2ページから9ページに掛けて記載しております。

教科ごとに、正答数の分布グラフ、江別市、北海道、全国の平均正答数と平均正答率及び学習指導要領の領域別の設問数と平均正答率の表を記載しております。

次に、10ページをご覧ください。

IVの質問紙調査の結果について、主な点をご説明します。

まず、1の児童・生徒質問紙は、児童生徒が学習習慣や生活習慣等について回答した結果であり、家庭の生活などの9項目について、学力や生活習慣などの特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取り組みを四角で囲んだ部分に記載しております。(2)の自己肯定感の①難しいことへの挑戦意欲、②自己肯定感や③将来の目標等については、いずれも全国平均を下回っています。④学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある、⑤先生は自分の良いところを認めてくれていると思うの割合は、いずれも全国平均を上回っています。

市内の小中学校では、一人ひとりの良さや可能性を見付けて伝えたり、集団における所属感や成就感を高めたりする取り組みを進めていますが、自己肯定感や自己有用感の醸成には継続して取り組む必要があります。

次に、11ページをご覧ください。

(4)学校の授業以外の勉強では、小中学生ともに塾などを含め休日に1時間以上家庭学習をしている割合は全国平均を上回っていますが、平日に1時間以上家庭学習をしている割合は全国平均を下回っています。学校からの宿題はもとより、各家庭において、望ましい生活習慣を確立し、休日も含め、毎日学習に取り組むようにする必要があります。

次に、12ページをご覧ください。

<p>月田教育長</p> <p>橋本委員 伊藤学校教育 支援室長</p> <p>月田教育長</p>	<p>2の学校質問紙については、学校の教育活動等について学校が回答した結果であり、学習態度・礼儀正しさなどの4項目について、学力向上等の取り組みの中から特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取り組み等を四角で囲んだ部分に記載しています。</p> <p>(1) 学習態度、礼儀正しさでは、授業中の私語が少なく、落ち着いている、児童生徒は礼儀正しいとの割合は、全国平均を大きく上回っています。各学校では、私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、授業開始のチャイムを守るなど、学習規律が丁寧に指導されており、江別市の小中学校は大変落ち着いた状態にあると言えます。</p> <p>次に、13ページをご覧ください。</p> <p>(2) 長期休業中の学習サポートでは、前年度に延べ5日以上学習サポートを実施した学校の割合が全国平均を大きく上回っております。江別市の小中学校では、夏休みや冬休みを利用して、教職員と学習サポート教員により行われており、基礎学力の定着に大きな役割を果たしています。</p> <p>(4) ICTを活用した授業では、前年度、算数・数学の授業でパソコンや電子黒板、実物投影機を活用した授業を週1回以上行ったと回答した割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回っています。江別市では、児童生徒の学習意欲を高め、分かりやすい授業が行われるよう、全ての学級に電子黒板を設置するなど、ICTを活用した授業が行われております。</p> <p>なお、14ページから28ページは、児童・生徒質問紙と学校質問紙の項目について、グラフを掲載しておりますのでご参照ください。</p> <p>続きまして、29ページをご覧ください。江別市学校改善支援プランです。</p> <p>まず、上段の明らかになった課題としましては、アでは、全国学力・学習状況調査を活用した継続的な検証改善サイクルを確立し、学校がチームとして学力向上の取り組みを推進していく必要があること、イでは、学習活動の質的な向上を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善とカリキュラム・マネジメントの確立、ICT機器やデジタル教科書の効果的な活用、家庭学習の習慣化、学習サポートを継続する必要があること、ウでは、授業以外の学習時間が短いことから、家庭学習の定着や望ましい生活リズムを確立する必要があること、またエでは、自己肯定感や自己有用感を高める教育の充実、オでは、読書活動の充実を図る取り組みの継続、カでは、小中学校間で児童生徒の学習状況について情報を共有し、学力向上に向けた小・中連携を一層推進していく必要があるとしております。</p> <p>資料の下段、左側は課題解決に向けた学校の取り組みとなっております。</p> <p>右側が、学校に対する教育委員会の支援であり、特に、1の学校の取り組みへの支援を引き続き図りながら、2の教職員の指導力向上に向けた支援として(1)教職員夏期・冬期セミナーの開催や、3人的・物的支援として(1)小中学校学習サポート事業、(2)小中学校英語活動の支援事業、(6)パソコン、電子黒板等の活用、指導用デジタル教科書の整備といったICT環境の整備、(7)学校図書館支援事業などについて、今後もさらに充実に努めていく必要があると考えております。</p> <p>これら分析結果と支援プランについては、来月の校長会におきまして各学校に情報提供を行い、市教委と学校が連携・協力し、江別市学校改善支援プランの取り組みを通して、教育指導や学習状況の改善を図っていきたいと考えております</p> <p>なお、調査結果については、昨年度と同様、ホームページで公表する予定です。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、全国学力・学習状況調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>実施した児童生徒数の中で、欠席者はどのぐらいいるのでしょうか。</p> <p>受験していない方の数ですが、小学校は在籍が939人で受験した人が912人ですので、27人が受けていないこととなります。中学校も同様に、在籍が1,034人ですが、受験した人が989人ですので45人が受けていないということとなります。</p> <p>内訳には、特別支援学級のお子さんもいらっしゃいますし、当日何らかの事情で休まれた方もいらっしゃると思いますが、細かい理由までは把握しておりません。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p>
-----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

須田委員	<p>11ページの社会に対する興味・関心の項目で、新聞をほぼ毎日読むのが小学生より中学生の方が低いですね。新聞を使った授業が北海道新聞にも載っていて、Newspaper in Educationなどと言いますが、今のところ江別市内では新聞を使った授業をしている学校はありますか。</p>
廣田学校教育課長	<p>正確には把握しておりませんが、各学校の図書室に新聞を備え付けていて、情報図書館の巡回司書が、総合学習の調べ学習などで新聞を活用している事例があると思います。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
須田委員	<p>5ページで、特に小学生の算数Bは量と測定、図形が他の項目と比べて低いと思うのですが、これらに関しては各学校に何か工夫をお願いするなど、教育委員会から働き掛けていることはあるのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>算数Aは基礎問題、算数Bは応用問題となっておりますが、量と測定の領域、図形の領域は、設問数が、それぞれ2問と1問となっていて、図形については全国でも13.2%の平均正答率に対し江別市では9.5%ということで、全国に対する割合としては約72%なのですが、問題数が一つしかないのが難しいところではあります。</p> <p>あくまでも応用問題ですし、基礎学力を十分付けた上で応用につながりますので、江別市の結果については基礎学力を示しているAの部分を今後も伸ばし続けていけるように学校の方では考えているところです。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
支部委員	<p>13ページ(4)のICTを活用した授業ということで、ポイント数は全国平均よりも高いということですが、この全国学力・学習状況調査におけるICT活用による底上げに関する要因とか、具体的に何かつかんでいらっしゃいますか。具体的にこういうことがあったので成績が向上したとか、何か顕著なものはあるのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>ICTを活用した授業のどの部分が学力の向上につながったかということは、はっきりとは言えませんが、江別市においては、平成24年度から平成25年度に掛けて電子黒板を全学級に配置しております。その後、指導用のデジタル教科書等を導入して子供たちが視覚で捉えられるような環境整備を行ってきたものであります。そういったものが基礎学力の定着、向上につながっているものと考えております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
林委員	<p>29ページの学校改善支援プランですが、課題を明らかにして教育委員会が支援する中で、学校が問題解決に向けたプランを作るという非常にいい流れができていていると思います。</p> <p>問題解決に向けたプランを作って、そのヒアリングを行うということですが、その結果の分析と言いますか、その辺のフィードバックのようなものは教育委員会と学校との間で行っているのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>学校改善支援プランのフィードバックについてですが、それぞれの学校の学校改善プランを踏まえ教育委員会の学校改善支援プランを作成しているのですけれども、それぞれの校区ごとの学校間で取り組みについて共有しておりますし、私どもも学校訪問の際に学力向上に向けた取り組みについて確認しております。</p> <p>また、道教委でも指導主事訪問という形で学校訪問を行う際に確認しております。</p>
月田教育長	<p>私から補足します。</p> <p>石狩教育局の指導主事訪問が年に2回ほどあり、授業を見せながらこのように研修しているということで、その話合いをしているところです。そこに、江別市の指導主事も行っていますので、学校でどのように取り組んでいるのかを把握しています。そのほかに石狩教育局の指導監も年に2回以上訪問していますので、その際にもこれらの報告をしており、これも市教委で把握しています。どのように取り組んでいるのかという情報は常に各学校から入ってきているということです。</p>
林委員	<p>分かりました。</p>
月田教育長	<p>また、13ページのICTを活用した授業によってどのように学力が向上したのかということですが、子供たちがICTを使ったから急に学力が高くなるわけではなく、囲みの中の2行目にあるとおり、児童生徒の学習意欲を高めるのに、非常に効果的だったということです。</p> <p>学習意欲が高まれば、自然と学力も高まっていくと考えられると思います。</p>

支部委員	知らないものを画像で見ること、あるいは数値で見せてもらうことで、新しいものに取り組んでいこうという意欲が生まれているのではないかと私も推測しております。
月田教育長	それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
廣田学校教育課長	次に、報告事項(2)江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。
廣田学校教育課長	報告事項(2)江別市一般会計補正予算の査定についてご報告いたします。 第10回定例教育委員会におきまして、第4回市議会定例会に提出を予定しております一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして財政部局の査定前の状態でご説明申し上げておりますが、過日、査定結果の通知を受けましたのでご報告いたします。
廣田学校教育課長	まず、学校教育課所管となります10款2項小学校費、小学校教育扶助費については、新小学校1年生に対する新入学児童生徒学用品費等、いわゆる入学準備金を入学前に前倒し支給するための経費として、要求額より79万5,000円少ない357万4,000円の査定となっております。
廣田学校教育課長	次に、10款3項中学校費、中学校教育扶助費については、要求額どおり314万6,000円の減額となっており、教育委員会全体での補正額は、42万8,000円の増額となります。
廣田学校教育課長	今後は、11月28日からの第4回市議会定例会で審議の上、承認されることにより補正予算として確定します。
月田教育長	以上です。 ただいま報告のありました、江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。
月田教育長	(質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
月田教育長	続いて、2の審議事項に入ります。
月田教育長	(1)平成29年議案第39号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求方針についての説明を求めます。
渡部教育部長	渡部教育部長お願いします。 平成29年議案第39号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求案についてご説明いたします。
渡部教育部長	本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見を聴かなければならないと定められていることから、この規定に基づく教育委員会の意見聴取の前段として、教育予算要求の主な内容をご審議いただくとするものであります。
渡部教育部長	経常費は財政当局へ提出済みであります。臨時費は今週末の24日が予算要求期限となっております。
渡部教育部長	このあと、予算要求方針につきましては次長から、各事務事業につきましては各所管課長から、順次ご説明申し上げます。
萬教育部次長	私から、資料の1ページに記載しております来年度の教育部予算要求方針についてご説明いたします。
萬教育部次長	現在、国では、第3期教育振興基本計画策定の議論が行われております。また、昨年度末の学習指導要領改訂において、国は、主体的・対話的で深い学びを通じた、現代に求められる能力育成等を、基本的な考え方として位置付けたところであります。
萬教育部次長	本市においては、全ての子供たちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体を、このふるさと江別で育み、そして夢と自信を持って、自らの可能性に挑戦していけるよう、教育政策を推進しており、加えて、生涯学習や文化・スポーツの環境整備、機会の充実も大切に考えており、国の計画等を踏まえて、更なる充実を図る必要があります。
萬教育部次長	このようなことから、教育部では教育政策の具体的な政策展開について、学校教育基本計画をはじめ、記載の三つの個別計画等に基づきながら、教育施策を推進する方針のもと

<p>山崎総務課長</p>	<p>に、必要な予算要求を行います。主要なものは次の4点であります。</p> <p>1点目は、安全・安心の確保が最重要課題となっている学校教育施設、社会教育施設、文化・スポーツ施設について、長寿命化や老朽化した施設設備の計画的な更新等の取り組みを進めるといもの、2点目は、学力向上には基礎学力の定着が大切なことから、個々のニーズに応じた支援の充実とともに、退職教員等による学習サポートや、ICTを活用した学習環境整備を、引き続き推進していこうといもの、3点目は、生涯学習や文化・芸術活動を推進するため、各種活動の機会を充実する取り組みを引き続き進めていこうといもの、4点目は、スポーツ活動の機会提供やスポーツ振興のための支援などの取り組みを引き続き推進していこうといものであります。</p> <p>私からは以上ですが、詳しくはそれぞれの所管課長等から順次ご説明いたします。</p> <p>引き続き、私から教育部総務課所管分についてご説明いたします。</p> <p>2ページをお開き願います。</p> <p>総務課所管の予算要求方針といたしまして、まず、地域と一体となった特色ある開かれた学校づくりを推進してまいります。このため、本年度から導入したコミュニティ・スクール事業の定着を図ってまいります。</p> <p>また、学校施設整備の改修では、外壁等の改修や屋外避難施設建て替えの実施設設計のほか、ボイラーや受電設備の更新等、安全で安心な学習環境の整備を進めてまいります。</p> <p>次に、遠距離通学への対応では、本年度末で閉校となる角山小学校に関連して、対雁小学校に通学することとなる児童のためのスクールタクシーを運行する等、登下校時における児童生徒の安全確保を図ります。</p> <p>最後に、私立学校については、各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動が積極的に展開され、教育の振興に貢献されていることから、特色ある教育が一層推進されるよう引き続き支援してまいります。</p> <p>私からは、以上であります。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>引き続き、私から学校教育課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>学力向上では、子供たち一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、学習サポート教員の派遣を継続して実施し、ティーム・ティーチングや少人数指導、中学校での放課後学習など、きめ細やかな学習指導を行ってまいります。</p> <p>次に、体力向上では、北翔大学の協力のもと、小学校1校をモデル校とした体力向上事業を継続するほか、小学校において北翔大学の教授と学生による出前授業を実施してまいります。</p> <p>次に、外国語教育では、小中学校の全学年の外国語の授業に外国語指導助手を引き続き派遣するほか、小学校における次期学習指導要領の先行実施に取り組むなど、更なる充実を図ります。</p> <p>次に、ICT環境の整備では、子供たちの学習意欲や理解力向上を図るため、デジタル教科書の整備を引き続き進めるとともに、小学校における教育用パソコンの更新に合わせ、既存のパソコンをデスクトップ型からタブレット型に変更するほか、校内LANの設置などの整備を行います。</p> <p>次に、学校図書館機能の充実を図るため、児童生徒用図書の本数を増やし、蔵書率の向上を図ります。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>松井教育支援課長</p>	<p>引き続き、私から教育支援課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>特別な支援を必要とする児童生徒への対応については、一人ひとりの教育的ニーズを把握して指導を実施するとともに、支援体制の整備を進めてまいります。</p> <p>次に、いじめや問題行動の未然防止のため、教育委員会へ直接心の声を届ける心のダイレクトメールや、専任指導員による相談や巡回を引き続き実施し、早期発見・早期対応に取り組んでいくほか、不登校等の学校生活に適應できない児童生徒への対応では、すぽっとケア等の実施により、学校への復帰の支援などを行っていきます。</p> <p>また、悩みを抱える子供や保護者に対しては、スクールソーシャルワーカーやスクール</p>

鈴木給食センター長	<p>カウンセラーなどによる相談を引き続き実施し支援を進めてまいります。</p> <p>次に、スマートフォンやインターネット利用によるトラブル防止のため、情報モラル教育やリーフレットの配布など、児童生徒や保護者への啓発に取り組んでまいります。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>引き続き、私から給食センター所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>学校における食育の推進については、市教委が学校に対して示した食育の推進についての指針に沿って、各学校が実践的な食に関する指導を行えるよう、必要な取り組みを強化するとともに、食生活の重要性について認識が深まるよう保護者を含めた啓発に努めてまいります。</p> <p>また、安全・安心な食材を安定して提供するとともに、引き続き、地場産品の使用拡大を図ってまいります。</p> <p>私からは以上です。</p>
天野生涯学習課長	<p>引き続き、私から生涯学習課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>多様化する市民の学習ニーズに応え、社会教育団体などと連携を深めるほか、市内大学の知的資源を有効活用するえべつ市民カレッジ事業等、市民が社会参画に向けた多様な知識を得る機会の確保や、市民の交流や学習活動の場としての社会教育施設の維持整備など、生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりを行います。</p> <p>次に、芸術・文化振興については、優れた芸術や伝統文化に触れることで自らが芸術活動を行う動機付けとなる機会を拡充するほか、市民芸術祭開催支援事業等の市民団体が主体的に行う芸術発表や、次代を担う子供たちの育成活動を支援し、市民と共に参加・創造する文化芸術活動の充実を図ります。</p> <p>そして、青少年については、家庭・学校・地域と連携し、青少年の主体性や社会性を育む青少年キャンプ村事業等の各種体験事業を推進するほか、諸団体等への支援を通じて青少年の健全育成に努めます。</p> <p>私からは以上です。</p>
萬教育部次長	<p>本日、スポーツ課長は他の公務で不在のため、私からスポーツ課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>スポーツ推進計画などに基づき、市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場や機会を提供し、心身ともに健やかで充実した市民生活の実現に努めます。</p> <p>そのため、生涯各期のライフスタイルに応じたスポーツ活動の条件等を整えるほか、社会人体育団体学校開放事業等で、日常的にスポーツを楽しむ機会の提供、環境整備、スポーツを習慣付けるための情報提供などを充実させてまいります。</p> <p>また、世界規模の大会等を契機に、スポーツ合宿誘致や障がい者スポーツ体験イベント等の開催支援などに取り組み、アスリートとの交流等の機会を通してスポーツ振興につなげてまいります。</p> <p>地域スポーツ活動の推進については、江別市体育協会等市内の体育団体を統括する組織を支援し、各団体の活動の活性化を図ります。</p> <p>スポーツ環境の整備・充実については、老朽化対策や市民要望等を踏まえ、安全で快適なスポーツ施設の計画的な改修整備に努めるほか、指定管理者とも連携し、市民が利用しやすい管理運営に努めてまいります。</p> <p>私からは以上です。</p>
山岸情報図書館長	<p>引き続き、私から情報図書館所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の5ページをご覧ください。</p> <p>まず、子供の読書環境の充実に向けて、子供たちの感性や情操を育み、読書への関心を高める機会としておはなし会を開催するほか、学校図書館への学校司書の巡回により、教育活動を支援し、児童生徒の学力向上を図ります。</p> <p>また、図書館サービスの充実に向けて、利用者の様々な要望に応えられるよう幅広い分野の図書資料を収集するとともに、電算システム、パソコン等の運用の効率化を図り、老</p>

<p>榑田郷土資料館長</p>	<p>朽化した設備等の更新により、図書館利用者の環境を維持し、利便性の向上を図ります。 私からは以上です。 引き続き、私から郷土資料館所管分についてご説明いたします。 資料の5ページをご覧ください。 郷土資料館では、市民のふるさと学習を支援するため、ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業により、子供や大人を対象とした体験型学習プログラムを提供するとともに、埋蔵文化財や民具などの収蔵資料を、展示公開する企画展を開催します。 さらに、有形・無形の文化財の保護・保存の取り組みとして、埋蔵文化財発掘調査等を行うとともに、野幌太々神楽伝承会補助金による伝承活動に対する支援を継続します。 次に、セラミックアートセンターでは、道外美術館の収蔵品巡回展などを企画しており、優れた芸術文化の鑑賞の機会を幅広く提供します。 また、陶芸体験等の機会を提供し江別らしい芸術文化の創造と発信に努めてまいります。 さらに、施設環境の保持については、経年劣化した照明設備等の改修整備を計画的に進めます。 以上です。</p>
<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 安全・安心の確保が最重要課題だということですが、学校の耐震化は終わったと思えますけれども、体育館とかもやっているとは思いますが、直さなければならない施設等がまだまだたくさん残っているのでしょうか。</p>
<p>萬教育部次長</p>	<p>耐震化ということについては、教育部所管の施設では今年度到大麻体育館の改修を完了したので、残る施設は青年センターのみということになります。 なお、耐震化については、躯体が大きな地震が起きても建物が倒壊しないということを目指すものでありまして、今回の方針に掲げた老朽化施設の計画的な補修や長寿命化と言うのは、学校や社会教育、文化・スポーツの施設の機能が適切に維持できるよう必要な工事を計画的に行っていきたいということで予算要求したいという趣旨でございます。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、平成29年議案第39号 平成30年度江別市一般会計教育予算要求方針についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>次に、(2)平成29年議案第40号 江別市学校運営委員会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。 山崎総務課長お願いします。 平成29年議案第40号 江別市学校運営委員会委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市学校運営委員会委員は、平成29年4月26日から2年間の任期で委嘱しておりますが、今回、大麻小学校学校運営委員会委員である教頭の人事異動があり、学校長からの推薦により新任の教頭を新たに学校運営委員会委員に委嘱しようとするものです。 2ページをご覧ください。 委員候補者については、委員名簿中、山村健史教頭が異動になったことから、後任の澤口敏之教頭を新たに委嘱しようとするものです。 1ページにお戻りください。 2の委員の任期については、前任者の残任期間の平成31年3月31日までです。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>以上、ご説明いたしましたので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、平成29年議案第40号 江別市学校運営委員会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。</p>

<p>廣田学校教育課長</p>	<p>次に、(3)平成29年議案第41号 全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についての説明を求めます。 廣田学校教育課長お願いします。 議案第41号 全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてご説明いたします。 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、スポーツ庁が実施要領に基づき、小学校5年生と中学校2年生を対象に、実技に関する調査として、握力、上体起こし、長座体前屈等の計8種目を行うほか、児童生徒及び学校に対する質問紙調査を毎年実施しているものです。 平成26年度から、都道府県教育委員会が、市町村教育委員会の同意を得た場合に、市町村名又は学校名を明らかにした公表を行うことが可能になったことを受けまして、平成26年度以降の調査結果については、教育委員会においてご承認をいただき、北海道教育委員会が作成した市町村名を明らかにした報告書において、江別市の結果が公表されております。 まず、1の同意内容につきましては、北海道教育委員会が作成する、全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」において、別紙資料にある道教委による市町村名を明らかにした公表の基本フォーマットにより、江別市の結果を公表することとなります。 2の、同意理由につきましては、江別市教育委員会といたしましては、調査の結果を様々な角度から一定の数値により分かりやすく公表することにより、学校・家庭・地域・行政が地域の体力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の体力向上に取り組むことが重要であることから、北海道教育委員会の公表依頼に同意したいと考えております。 具体的な公表の内容につきましては、別紙の資料に例が示されておりますのでご覧ください。各市町村につき、小学校分1枚、中学校分1枚をそれぞれ作成するもので、昨年と同様の考え方による公表となります。 公表の時期につきましては、2月をめどに予定しているとのことです。 なお、全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載につきましては、今後、公表内容等に大きな変更が生じない限り、今回ご承認いただいた結果をもとに、次年度以降も継続して北海道教育委員会の公表依頼に同意してまいりたいと考えております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。 ただいま説明のありました本件についてですが、全国学力・学習状況調査とは違いまして、1ページの資料にもあるように男子と女子のレーダーチャートが一緒に載っており、小さいチャートになっていて非常に分かりづらいかもかもしれません。そのため、全国と同じように見えてしまうというのが欠点かもしれないと感じています。 それでは、本件に対する質問や意見等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、平成29年議案第41号 全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。</p>
<p>鈴木給食センター長</p>	<p>次に、(4)平成29年議案第42号 江別市学校給食用食器具(箸)の選定についての説明を求めます。 鈴木給食センター長お願いします。 平成29年議案第42号 学校給食用食器具(箸)の選定につきましてご説明いたします。 学校給食用食器具の箸の選定につきましては、江別市学校給食用食器検討委員会から教育委員会に対し、平成29年11月14日に食器具の選定に係る意見の報告書が提出されております。 意見としましては、更新時期を迎えている江別市の学校給食用食器具(箸)については、強化ナイロン製樹脂箸(以下アミハード箸という。)の使用が適当と考えますというもので</p>

<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>した。 食器検討委員会における検討内容は、食器具の材質が安全であることのほか、使いやすさ、耐久性、臭い、洗浄作業など様々な観点から十分に検討されております。 別紙の学校給食用食器具（箸）の選定についての補足には、アミハード箸の材質に不安を持つ保護者への対応として、検討委員会が出された意見を踏まえ、アミハード箸の材質に不安がある場合は、ご家庭から箸を持参して差し支えないことをお伝えすることといたしました。 以上、ご説明申し上げましたので、よろしくご審議のほどお願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 事前にいただいた資料を見ると、平成24年2月からこの件について検討しているように見えますが、ずっと検討していたということでしょうか。</p>
<p>鈴木給食センター長 橋本委員 鈴木給食センター長</p>	<p>前回の更新の際に平成24年から平成25年に掛けて検討したということです。今回については、今年5月の第1回検討委員会から延べ4回の審議で検討しております。 何年かごとに見直していて、審議をしているということなののでしょうか。 箸については5年更新となっております。5年の根拠としては、1年間で約200回使用しますので5年で1,000回になります。1,000回で更新ということになります。 平成26年度から使用している箸については、次回は平成31年度から使用できるように更新しますので、今回審議をして決定したところです。</p>
<p>橋本委員 鈴木給食センター長 橋本委員</p>	<p>平成24年度に持参についても検討したということですが、今回は箸を持参することについては検討されなかったのでしょうか。 箸を持参することについては、今回も検討委員会において出ておりましたが、全会一致で持参ではなく教育委員会で用意するということになりました。</p>
<p>鈴木給食センター長 月田教育長 須田委員</p>	<p>他市町村の状況を見ると結構持参のところがありますね。江別市はそれをサービスしてあげようという趣旨でそうなったのでしょうか。 持参となりますと、衛生面での課題があるので江別市では給食センターで用意することになったところです。 ほかに質問等はございますか。</p>
<p>鈴木給食センター長 渡部教育部長</p>	<p>この箸で不都合があれば持参してもいいということですが、前回の更新の際も同じだったと思います。実際に持参した子供も何人かいらっしゃるのでしょうか。 大きな人数ではないと思われますし、若干名いらっしゃるかもしれませんが、詳しくは把握しておりません。 補足します。 使用に当たって箸を持参していただくのは差し支えないということで、各学校は保護者に対してその旨を通知する形になります。ただ、実際に持参した児童生徒が何人ぐらいいるのかについては現時点では把握しておりません。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、平成29年議案第42号 江別市学校給食用食器具（箸）の選定についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>山崎総務課長お願いします。 次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成29年第4回江別市議会定例会の一般質問について、平成28年度江別市学校教育基本計画推進状況について、審議事項として、第9期江別市社会教育総合計画の諮問について、平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価報告書についてなどを予定しております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、12月26日火曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。 ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は12月26日火曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。</p>

(一同了承)

以上をもちまして、第11回定例教育委員会を終了いたします。

(閉会)

終了 午後3時35分

署名人(教育長) 月田 健二

署 名 人 支 部 英 孝